

証券コード：4406

New Japan Chemical Co., Ltd.



## 第139期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日



 **新日本理化株式会社**



# 人と化学に向かい合う



## 事業領域／社会で活躍する当社製品

### 生活分野

天然の植物・動物油を主原料に、当社独自の高压還元・選択水素化技術で、化粧品やシャンプー・リンス等の材料を提供しています。



### IT分野

高品質、高機能の酸無水物は、LEDや液晶ディスプレイ・電子機器等でも利用され、急拡大する市場のニーズに対応しています。



### 医薬分野

優位性を誇る高压水素化反応や高度精製技術を応用し、当社は医薬中間体（医薬製造原料）の製造にも取り組んでいます。



### 環境分野

「地球に優しい」天然油脂をベースに様々な技術・ノウハウを駆使し、低環境汚染型界面活性剤等の環境配慮型製品を開発しています。



## 景気に左右されない強靱な経営基盤づくりに向けた、 競争力、収益力の向上に取組み、 新市場の開拓を強力に推進してまいります。

代表取締役社長 藤本万太郎



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第139期中間期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）における概要をご報告申し上げます。

### 事業の概況

当中間期におけるわが国経済は、政府の経済対策効果により個人消費の改善が進むなど、景気は回復基調で推移いたしましたものの、急激な円高やデフレの進行に加え、雇用不安の顕在化など、景気の回復は次第に鈍化する傾向となりました。

化学業界におきましては、耐久消費財をはじめとした国内需要の増加はあるものの、天然油脂原料の国際価格が騰勢を強めたほか、原油も総じて高値圏が続くなど、採算面では厳しい環境で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、電子部品や半導体などの成長分野の研究開発に注力する一方、生産コストの低減や製品販売での適正価格への是正に努めるなど、積極的な営業活動を展開してまいりました。

また、平成22年4月15日、当社川崎工場において火

災が発生し、建物および機械装置の一部を焼失いたしました。これにより同設備の操業を停止したため、売上高・採算面に影響を及ぼしましたが、6月に復旧作業が終了し、当中間期中にフル生産体制で操業を再開しております。

以上の結果、当中間期における当社グループの売上高は142億7千8百万円（前年同期比16.9%増）、経常利益3億2千9百万円（前年同期は4億5千1百万円の経常損失）、中間純利益1億6千5百万円（前年同期は4億8千6百万円の中間純損失）となりました。

なお、中間配当につきましては、誠に遺憾ではありますが、見送らせていただきたく、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

### 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、先行きの景気の不透明感により、市場は慎重姿勢に転じる傾向が懸念されます。当社グループでは、景気に左右されない強靱な経営基盤づくりに向け、製造プロセスの徹底した見直しを実施することにより、既存事業の競争力を高めるほか、医薬中間体の早期事業化や新たな透明化核剤の戦略的な投入準備を進め、BRICs等の新たな市場の開拓を強力に推進してまいります。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前中間 平成21年9月30日現在	当中間 平成22年9月30日現在	前期末 平成22年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>			
<b>流動資産</b>	<b>13,727</b>	<b>16,115</b>	<b>15,509</b>
現金及び預金	1,703	2,122	1,958
受取手形及び売掛金	8,216	9,813	9,814
商品及び製品	1,823	1,821	1,725
仕掛品	1,093	1,107	1,067
原材料及び貯蔵品	771	950	826
その他	127	302	119
貸倒引当金	△8	△3	△3
<b>固定資産</b>	<b>15,968</b>	<b>16,603</b>	<b>17,870</b>
(有形固定資産)	7,831	9,489	9,789
(無形固定資産)	260	202	229
(投資その他の資産)	7,877	6,911	7,851
投資有価証券	7,393	6,440	7,399
その他	484	474	455
貸倒引当金	△1	△3	△3
<b>資産合計</b>	<b>29,696</b>	<b>32,718</b>	<b>33,379</b>

	前中間 平成21年9月30日現在	当中間 平成22年9月30日現在	前期末 平成22年3月31日現在
<b>【負債の部】</b>			
<b>流動負債</b>	<b>10,857</b>	<b>10,539</b>	<b>11,797</b>
支払手形及び買掛金	4,140	5,637	5,506
短期借入金	5,354	3,501	4,888
1年内償還予定の社債	—	28	28
未払法人税等	21	57	42
賞与引当金	104	214	144
その他	1,236	1,100	1,187
<b>固定負債</b>	<b>8,013</b>	<b>10,849</b>	<b>9,916</b>
社債	—	344	358
長期借入金	5,275	6,549	5,330
退職給付引当金	1,833	1,962	1,944
役員退職慰労引当金	13	37	47
負ののれん	34	521	581
その他	857	1,434	1,654
<b>負債合計</b>	<b>18,871</b>	<b>21,388</b>	<b>21,714</b>
<b>【純資産の部】</b>			
<b>株主資本</b>	<b>10,757</b>	<b>11,193</b>	<b>11,027</b>
資本金	5,660	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246	4,246
利益剰余金	1,018	1,453	1,288
自己株式	△168	△168	△168
<b>評価・換算差額等</b>	<b>58</b>	<b>△471</b>	<b>44</b>
その他有価証券評価差額金	957	520	956
繰延ヘッジ損益	△35	△31	△17
為替換算調整勘定	△863	△960	△894
<b>少数株主持分</b>	<b>8</b>	<b>608</b>	<b>593</b>
<b>純資産合計</b>	<b>10,824</b>	<b>11,329</b>	<b>11,665</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>29,696</b>	<b>32,718</b>	<b>33,379</b>

連結損益計算書

(単位：百万円)

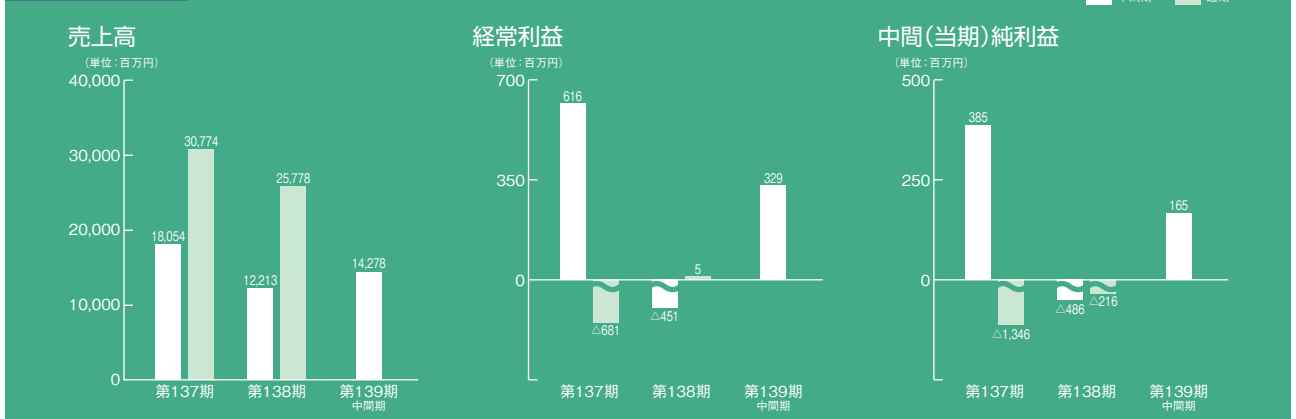
	前中間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当中間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	12,213	14,278	25,778
売上原価	10,877	11,969	22,249
売上総利益	1,336	2,309	3,528
販売費及び一般管理費	1,833	2,070	3,689
営業利益又は営業損失(△)	△497	239	△160
営業外収益	213	239	444
営業外費用	166	149	278
経常利益又は経常損失(△)	△451	329	5
特別利益	—	0	48
特別損失	22	98	230
中間純利益又は 中間(当期)純損失(△)	△486	165	△216

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当中間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,532	572	3,829
投資活動によるキャッシュ・フロー	△869	△349	△1,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,755	△240	△2,627
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△5	△3
現金及び現金同等物の増減額	△99	△23	62
現金及び現金同等物の期首残高	1,767	1,829	1,767
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	—	128	—
現金及び現金同等物の中間 期末(期末)残高	1,668	1,934	1,829

業績ハイライト





## セグメント別売上高

## ● 油脂製品セグメント

売上高 49億7千万円

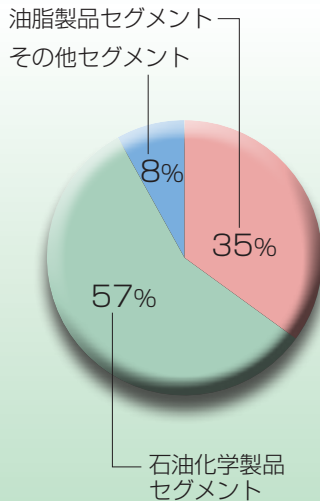
## ● 石油化学製品セグメント

売上高 82億1千6百万円

## ● その他セグメント

売上高 10億9千1百万円

## セグメント別売上高構成比



## 油脂製品セグメント

脂肪酸、グリセリン等の油脂製品部門は、主要販売先である合成樹脂業界の需要増により、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

アルコール製品は、トイレタリー分野における販売競争が厳しい状況であったことから、販売数量は前年を下回りましたものの、原料価格高に伴い販売価格を是正いたしました結果、売上高は増加いたしました。



## 石油化学製品セグメント

化成品部門では、主力の可塑剤が自動車関連の需要が増加したことにより、販売数量、売上高ともに増加いたしました。ベンゼン系では輸入品の増加による厳しい状況下で、自動車向け販売が伸び悩みました。

機能製品部門では、酸無水物が期中の製造設備トラブルによる減収の影響から、国内販売は微減となりました。一方、輸出では新興国市場において好調に推移したため販売数量、売上高ともに増加いたしました。

樹脂添加剤では、主要需要先の定期整備により販売が減少したほか、収益面では円高の進行が重荷となり採算に影響を与えました。



## その他セグメント

その他セグメントにおきましては、自動車業界の需要が大きく改善し、防錆剤、水溶性切削油等は増収となりました。

その他、商社部門や保険部門も順調に推移いたしました。



会社概要 (平成22年9月30日現在)

社名	新日本理化株式会社	
設立	大正8年11月10日	
資本金	5,660,863,449円	
従業員数	376名 (単体)	472名 (連結)
事業所	大阪本社 大阪市中央区備後町二丁目1番8号 備後町野村ビル 東京支社 東京都中央区新川一丁目3番3号 第17荒井ビル 研究所/京都工場 京都市伏見区葎島矢倉町13番地 徳島工場 徳島県徳島市川内町榎瀬1番地 川崎工場 川崎市川崎区浮島町7番2号 堺工場 堺市西区築港新町3丁5番地1	

重要な子会社および関連会社 (平成22年9月30日現在)

連結子会社	日新理化株式会社 アルベス株式会社 千葉脂肪酸株式会社 日東化成工業株式会社 NJC Korea Co.,Ltd.
持分法適用 関連会社	エメリーオレオケミカルズリカ Sdn.Bhd. 台湾新日化股份有限公司 SK NJC Co.,Ltd.

(注) 当社は、平成22年8月19日に大韓民国ソウル市にNJC Korea Co.,Ltd.を設立いたしました。

役員 (平成22年9月30日現在)

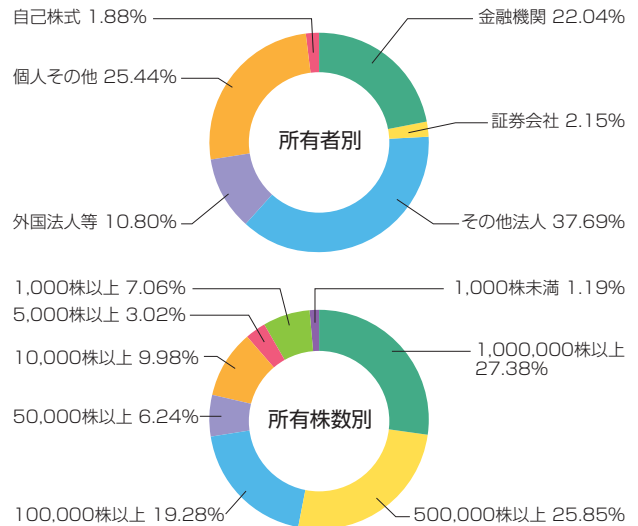
代表取締役社長	藤本 万太郎
常務取締役	原 健二
常務取締役	加藤 純
取締役	寺澤 静男
取締役	林 豊
取締役	状家 美香
常勤監査役	山本 隆
常勤監査役	由元 憲昭
監査役	松本 好史

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	38,008,906株 (うち自己株式715,954株)
株主数	4,405名
大株主	

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
UNION BANCAIRE PRIVEE	1,864,000	5.00
株式会社りそな銀行	1,861,533	5.00
DAIICHI KANGYO BANK (SCHWEIZ) .AG	1,686,000	4.52
株式会社西日本シティ銀行	1,633,300	4.38
フクダ電子株式会社	1,199,000	3.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	1,155,600	3.10
協和発酵ケミカル株式会社	1,009,000	2.71
三井住友海上火災保険株式会社	941,600	2.52
日油株式会社	922,875	2.47
東洋テック株式会社	920,000	2.47

●分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	臨時に必要な場合は、その都度公告いたします。 電子公告とし、当社ホームページ ( <a href="http://www.nj-chem.co.jp/">http://www.nj-chem.co.jp/</a> )に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	大阪証券取引所 市場第一部
証券コード	4406

当社の株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関である株式会社だいこう証券ビジネスは、平成23年1月1日をもって、会社分割により三菱UFJ信託銀行株式会社へ証券代行業務を移管いたします。  
つきましては、株式に関する各種お問合せ先等が以下のとおり変更となります。

平成22年12月30日まで

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関 株式会社だいこう証券ビジネス

【郵便物送付先／各種お問合せ先】

〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号

株式会社だいこう証券ビジネス 証券代行事務センター

●株式事務に関するご照会 電話 0120-255-100 (通話料無料)

●特別口座に関するご照会 電話 0120-351-465 (通話料無料)

〔受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝祭日を除く)〕

平成23年1月4日以降

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

【郵便物送付先／各種お問合せ先】

〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

●各種事務に関するご照会 電話 0120-255-100 (通話料無料)

〔受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕

## ホームページのご紹介

ホームページからも当社のIR情報をご覧いただけます。



<http://www.nj-chem.co.jp/>



 **新日本理化株式会社**